


獨協大学長殿

学外研修報告書

私は、学外研修員として出張しておりましたが、このたび研修を終えて帰任いたしました。つきましては、次のとおりご報告申し上げます。

| | | | |
|---|-------------------------|------|--|
| 報告日 | 2024年4月3日 | 所属 | 外国語学部フランス語学科 |
| 職名 | 教授 | 氏名 | 筒井伸保  |
| 研修種別 | 1. 海外 ② 国内 | 研修種類 | ① 長期 2. 短期 |
| 研修期間 | 2023年3月31日 ~ 2024年3月30日 | | |
| 学外における主な研修機関および訪問先 | | | |
| 一橋大学大学院 経済学研究科 | | | |
| 出張目的または研究題目 | | | |
| モンテニユの引退に関する思想史的研究 | | | |
| 資格 ① 2023年度獨協大学学外研修員（派遣） 2. 本学承認の学外研修員（自費等） 3. その他（ ） | | | |
| 大学から支給された費用（要清算書類）・補助金額 | | 50万円 | |
| 研修内容（1. 研修経過の詳細 2. 研究成果発表の予定 3. その他 を記入） | | | |
| (1) 2023年度の学外研修であったが年度末から2024年度末の2024年3月30日までイタリア・ルネサンス人文主義研究に於ける我が邦での第一人者である一橋大学大学院経済学研究科榎本武文准教授の研究室に於いてモンテニユの引退に関する思想史的研究の一環として先行の思想史文学史的調査（主にラテン語文献の調査）を行った。 | | | |
| (2) 研究成果発表については、一部は既に獨協大学外国語学部紀要 | | | |

提出先：所属学部長→学長→人事課

裏面につづく

『フランス文化研究』第55号(2024年3月20日発行)の論文'Reception of Terence's 'Homo sum...' from Antiquity to the Renaissance in the History of Humanisms'(pp.19-122)の特にpp.21-24及びpp.88-106と12に発表した。残りの成果は『フランス文化研究』第56号(2025年3月発行予定)に発表するつもりである。

(3) 大学から支給された学外研修費用50万円のうち294,473円は未消費であり返還する。